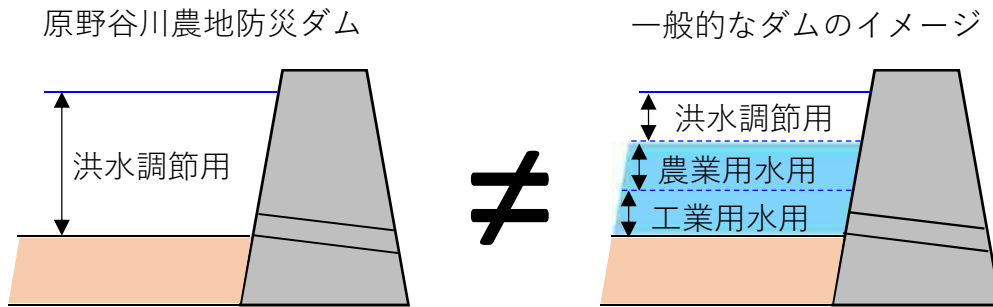


原野谷川農地防災ダム 洪水調節のしくみ

静岡県中遠農林事務所
農村整備課

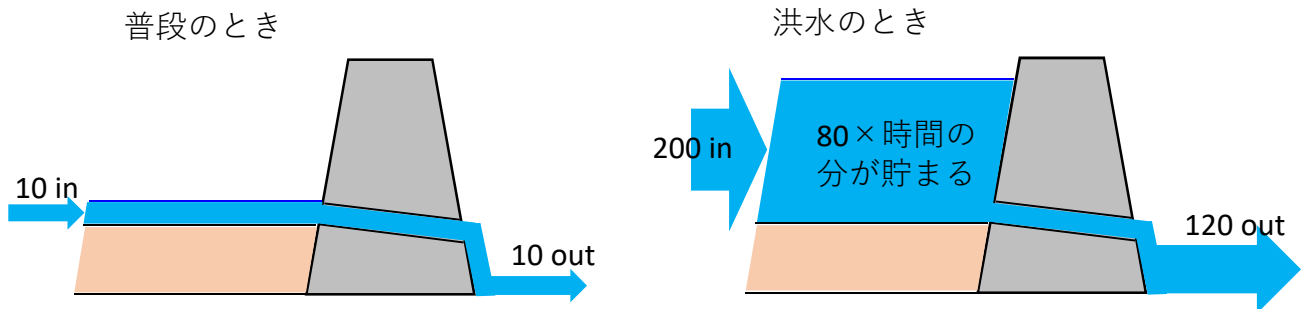
○原野谷川農地防災ダムってどんなダム？



一般的なダム（多目的ダム）には洪水調節、農業・工業用水の貯水など、色々な役割がありますが、原野谷川農地防災ダムの役割は洪水調節のみ（単一目的ダム）です。

農業・工業用水などはダム湖に水を貯めて必要な時に利用しますが、洪水調節用は普段は空にしておき、大雨が降ると水を貯めて河川への流出する量を抑えることに利用します。

○どうやって洪水を調節しているの？



原野谷川農地防災ダムには穴が開いており、普段は水を貯めずに穴から水を流しています。大雨のときは穴から出る水の量より上流から流れ込んでくる水の量の方が大きくなるので、段々とダム湖へ水が貯まることとなります。（自然調節方式といいます）

洪水は河川で流せる量よりも多い水が流れてくるのが問題ですが、原野谷農地防災ダムでは一時的に水を貯めて河川で流せる量の範囲内で水を流すことで問題を解決をしています。

○大雨が降っているのにダムが満杯になったらどうなるの？

ダムが満杯になったのに雨が降りやまないと、ダムの頭（洪水吐）から水が溢れることとなります。こうなると上流から来るすべての水がダムより下流へ流れて大災害になってしまいます。

原野谷川農地防災ダムは空っぽの状態では50年に1度の確率で降る大雨も貯められる能力がありますが、雨の予報は完璧ではないので、いつ50年に1度の雨が降っても大丈夫なように、常に空っぽの状態にしておく必要があります。

